

事務事業名		博物館教育普及事業			<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業									
政策体系	政策名	0:6: 豊かな心を育む人づくりの推進			事業期間		予算科目									
	施策名	2:5: 生涯学習の推進														
	基本事業名	0:2: 市民の学習活動への支援			<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 58 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入		01	10	05	06	12					
根拠法令	博物館法															
所属	部課名	教育委員会事務局生涯学習課														
	係名	博物館	電話	29-2161												
			内線													
事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							全体計画 (期間限定複数年度のみ)									
・博物館資料や気仙地域の自然と文化について普及する事業。 ・主な業務は、体験学習・自然観察の実施、生涯学習相談・専門研究対応の実施、各種実務体験 (博物館実習・職場体験・社会体験等) の受入、学校教育との連携、博物館講座 (成人大学講座) の実施、小学生向け「博物館スクール」の実施、博物館交流の実施 (他市町村の博物館での学習活動)、博物館職員派遣の実施、所蔵資料の特別利用、個人所蔵資料燻蒸サービスの実施、インターネット情報検索用パソコンの供用。 ・事業費は、自然観察会の講師謝金、各種消耗品、博物館交流用バス賃借料などに支出される。							総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金							
								財源内訳	都道府県支出金							
									地方債							
									その他							
									一般財源							
							事業費計 (A)	0								
							人件費	正規職員従事人数								
								延べ業務時間								
								人件費計 (B)	0							
								トータルコスト(A) + (B)	0							

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)		
手段 (主な活動) 前年度実績 (前年度に行った主な活動) 植物観察会・地質観察会、生涯学習・専門研究への対応、各種実務体験の受入、博物館講座 (成人大学講座)、博物館スクール、博物館交流、各種研修会への職員の派遣、収蔵資料の特別利用、個人所蔵資料燻蒸サービスなど 今年度計画 (今年度に計画している主な活動) 地質観察会の代わりにたいけん博物館を、植物観察会の代わりに海辺の生物観察会を実施。その他は前年度同様。		名称	単位	
		ア	博物館スクールの実施回数	回
		イ	生涯学習相談の対応件数	件
		ウ	博物館職員の派遣回数	回
対象 (誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 市民		対象指標 (対象の大きさを表す指標)		
		名称	単位	
		カ	人口	人
意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか) 教育普及事業を通して、気仙地域の自然と文化について学ぶことができる		成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)		
		名称	単位	
結果 (基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか) 主体的な学習活動が行われている		サ	普及事業への参加者数	人
		シ		
		ス		

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	200	72	105	55	88	32
		事業費計 (A)	千円	200	72	105	55	88	32
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	500	500	590	700	700	500
		人件費計 (B)	千円	2,000	2,000	2,360	2,800	2,800	2,000
		トータルコスト(A) + (B)	千円	2,200	2,072	2,465	2,855	2,888	2,032
活動指標	ア	回	4	5	5	8	4	5	
	イ	件	50	62	65	58	92	80	
	ウ	回	13	11	6	9	4	5	
対象指標	カ	人	43,209	42,575	42,158	41,684	41,334	42,000	
	キ								
	ク								
成果指標	サ	人	927	852	1,055	896	690	850	
	シ								
	ス								

事務事業ID	0901	事務事業名	博物館教育普及事業
--------	------	-------	-----------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 昭和58年、新館開館の翌年から、各種普及事業を開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 自然観察・体験学習は隔年開催にし、参加者のニーズに応じている。生涯学習相談・専門研究対応はその都度相談を受け付け回答している。各種実務体験(博物館実習・職場体験・社会体験等)は、希望者を受入れている。博物館講座(成人大学講座)は、中央公民館・図書館と連携して平成2年度から実施している。「博物館スクール」は平成2年度から開始し毎年4～6回実施しているが、平成20年度に初めて社会・理科両コース利用の学校があった。博物館交流は平成14年度から開始し、毎回参加者が多く好評である。博物館職員の派遣は、年間約10回の要請に応じている。収蔵資料の特別利用への対応は、毎年約10件ある。個人所蔵資料燻蒸サービスは平成11年度から開始し、毎年数件受け付けている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ ・成人大学講座の受講生から、博物館講座については歴史・民俗分野の講師を望む声が多く、また、美術関係の講座も組み入れて欲しいとの要望がある。 ・博物館交流の参加者から、バスで県内の博物館を訪問する形の博物館交流事業の継続実施を望む声が多い。	

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性  この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] 普及事業への参加は、主体的な学習活動に直結する。
	公共関与の妥当性  なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] 市の生涯学習施設である博物館が、普及事業を通して市民の主体的な学習活動を支援することは、市の施策としてふさわしい。
	対象・意図の妥当性  対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] 対象・意図ともに適切である。
有効性 評価	成果の向上余地  成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] 募集定員に満たない事業は、あるべき水準との差異がある。事業内容に関する市民ニーズの把握不足や事業実施に関する情報提供の不足が主な要因である。
	廃止・休止の成果への影響  事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] 専門的な生涯学習の機会が少なくなり、市民の学習活動への支援に支障をきたす。
	類似事業との統廃合・連携の可能性  目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある  (具体的な手段、事務事業) 市民生活環境課の環境保全啓発事業では、小中学生を対象とした水生生物調査が行われている。  <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由] 市民生活環境課の水生生物調査は環境保全、博物館の自然観察は動植物の学術的観察がそれぞれ目的であり、相違があることから統廃合できない。  <input type="checkbox"/> 他に手段がない [理由]
効率性 評価	事業費の削減余地  成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] 自然観察・体験学習は隔年開催にするなど、事業費の削減を図っている。体験学習等で費用がかかる場合には、参加費を設定し徴収している。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地  やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] 費用を最小限にして市民の学習興味を喚起するためには、事業内容の工夫などに専門職員(学芸員)等の相当な人手と時間がかかることはやむを得ず、削減の余地はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地  事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] 体験学習・交流事業等で参加費用がかかる場合には実費を負担してもらっている。

事務事業ID	0901	事務事業名	博物館教育普及事業
--------	------	-------	-----------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>博物館交流は、人気事業である他市の博物館へ訪問するバスツアーを企画し、定員以上の応募者があった。訪問先ではバター作り体験などを実施し、参加者からは好評であった。</p> <p>博物館講座(成人大学講座)は、市民の関心が高いと思われるテーマで講師選定を行った結果、受講者アンケートではどの講座も「良かった」との評価を得た。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>植物観察会の代わりに海辺の生物観察会を、地質観察会の代わりにたいけん博物館を実施する。海辺の生物観察会は、観察場所と内容を吟味し、多くの市民が楽しめるような観察会の企画に努める。たいけん博物館は、平成10年以降の実施であり、広報活動により力を入れて市民への周知に努める。「博物館スクール」は、今年度新型インフルエンザの影響で実施校が減少したことから、改めて各校へ周知し、参加校・参加児童数の増加を目指す。博物館講座(成人大学講座)は、引き続き市民のニーズに合わせたテーマで講師選定を行う。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「」を記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <p>事業の参加者募集について、事業実施場所の小中学校には集中して周知するなど、より積極的な情報提供を行うことで、一層の成果向上を図る。</p>																						

(職名) 原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	生涯学習課長	
-------	--------	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい</p> <p><input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある</p> <p><input type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>適切な事務事業執行がなされている。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 ( <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>現状どおり継続して事務事業を実施する。市民への事業PRの充実を図る。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「」で記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

<p>(1) 行政経営推進会議等での指摘事項</p>
----------------------------